

**製品名: GluR1 (12Y10) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe11490**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:10-1:100
分子量	102kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GRIA1
別名	Glutamate receptor 1; GluR-1; AMPA-selective glutamate receptor 1; GluR-A; GluR-K1; GluRA; GluRK1; Glutamate receptor ionotropic, AMPA 1; GluA1; GRIA1; GLUH1; GLUR1;
遺伝子 ID	2890.0
SwissProt ID	P42261
免疫原	ヒトグルタミン酸受容体 1 (AMPA サブタイプ) の合成ペプチド

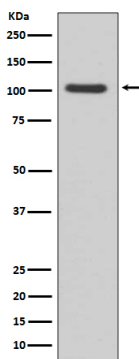
## 背景

AMPA 受容体 ( $\alpha$ -アミノ-3-ヒドロキシ-5-メチル-4-イソキサゾールプロピオン酸)、カイニン酸受容体、および NMDA 受容体 (N-メチル-D-アスパラギン酸) は、イオンチャンネル型グルタミン酸依存性イオンチャンネルの3つの主要なファミリーです。AMPA 受容体 (AMPA) は4つのサブユニット (GluR 1~4) で構成され、ホモまたはヘテロ四量体として集合し、中枢神経系における高速興奮性伝達の大部分を媒介します。AMPA はシナプスの形成、安定化、および可塑性に関与しています。イオンチャンネル型グルタミン酸受容体。L-グルタミン酸は、中枢神経系の多くのシナプスで興奮性神経伝達物質として作用します。興奮性神経伝達物質 L-グルタミン酸が結合すると、構造変化が誘発され、陽イオンチャンネルが開き、化学信号が電気インパルスに変換されます。その後、受容体は急速に脱感作し、結合したアゴニストの存在を特徴とする一時的な不活性状態に入ります。CACNG4、CACNG7、または CACNG8 が存在する場合、グルタミン酸の継続投与時に電流フラックスの蓄積が遅れるという特徴を持つ再感作を示します。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



ヒト脳溶解物中の GluR1 発現のウェスタン プロット分析。